## 「URA勉強会 研究DXシリーズvol. I ]

## オープンサイエンスの潮流を"研究者と組織"としてどう活かすか

オンライン開催

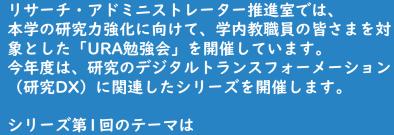
10.00 10:00 £ 11:30

対象 学内の教職員

申込 https://forms.office.com/r/aEbheNf4wT

UTokyoアカウントへのサインインが必要です

(定員300名に達し次第、申込を締め切ります)



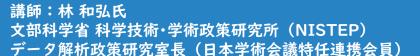
「オープンサイエンスの潮流」。 オープンサイエンス推進の第一人者で、G7オープンサ イエンスWGの立ち上げ人の一人でもある林和弘先生 をお招きし、オープンサイエンスの歴史的必然性とこ

れからのビジョンをお伝えいただきます。

皆さまのご参加をお待ちしております。



- 1. 「情報基盤」の変革に応じた研究推進の新しい秩序
- 2. データ駆動型社会が促す「組織」と「分野」の再構築
- 3. 研究成果公開の「信頼性確保」と「スピード」のバランス



東京大学大学院在学中の1995年頃より取り組み始めた日本化学 会英文誌の電子ジャーナル化と事業化を端緒に、学術情報流通の 変革を軸とした科学と社会の変容(オープンサイエンス)の調査 研究と実践に幅広く取り組む。また、国内外の政策作りにも貢献



